

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】幅方向を同一形状に湾曲し細長扁平棒状に形成した靴べらと孫の手をそれぞれの基端部にてピンで回転自在に連結したものであって、前記孫の手はその先端部を裏面に折曲してこの折曲部の先端縁に波状突起を形成し、かつ前記折曲部に寄った左、右側縁部にそれぞれ小突起を突設したことを特徴とする携帯用靴べら兼用孫の手。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、バッグ等に入れて常時持ち歩くことのできる携帯用靴べら兼用孫の手に関するものである。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】従来、孫の手、靴べらはそれぞれ別個のものとしては種々のものが存在している。しかしながら、特に孫の手については、ある程度の長さが必要のためバッグ等に入れて持ち歩けるものは存在せず、外出に際して必要に応じて即座に対応できない不自由をすることがあった。

【0003】この発明は前記事情に鑑み創案されたもので、靴べらと兼用させることで孫の手を必要長さにし常時携帯できるように形成した靴べら兼用孫の手を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するためこの発明は、幅方向を同一形状に形成し扁平細長状に形成した靴べらと孫の手をそれぞれの基端部にてピンで回転自在に連結したものであって、前記孫の手はその先端部を裏面方向に折曲してこの折曲部の先端縁に波状突起を形成し、かつ、前記折曲部に寄った左、右側縁部に小突起を突設したことを特徴としたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、図示した実施の形態例について説明する。図面において、符号1は孫の手部分を示

し、2は靴べら部分を示し、孫の手1の基端部と靴べら2の基端部を重ね合わせ回転自在にピン3により連結してある。孫の手1及び靴べら2は何れも幅方向に同一湾曲した細長扁平棒状に形成してある。

【0006】孫の手1の先端を若干細目に形成し、先端部は裏面方向へ直角に折曲し、折曲部4の下端は複数の波状突起4aを設け、さらに、折曲部4に寄った細目部分に左、右に向け小突起5、5を突設してある。また、靴べら2は、その先端部を弧状に形成してある。

10 【0007】そして、持ち運び時には、孫の手1あるいは靴べら2を、ピン3を中心として回転させて両者を重ね合わせてコンパクトにする。また、使用時には、逆に孫の手あるいは靴べらのいずれか一方を回転させて押し開き使用する。

【0008】

【発明の効果】本発明は以上の構成からなっているので、靴べらと孫の手の機能を兼ね備えており折畳むことにより、長さを短かくコンパクトにすることができるために、バッグ等の中へ入れて手軽に持ち運びできる、外出時など必要に応じて取り出し素早く対処できる。そして、爪部分は、先端折曲部分の他にも先端寄りの左右側縁からも小突起を突設して爪部分となしているので、背中を掻くための部分が広くなっている、背中を掻く際に際に、無理して折曲部分を身体に当てようとする配慮が必要なく、気楽に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の開いた状態を示す平面図である。

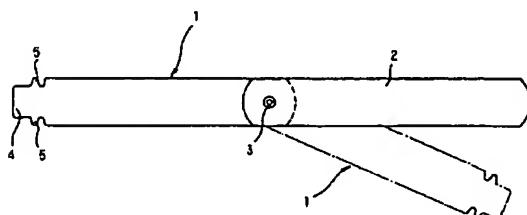
【図2】本発明の開いた状態を示す正面図である。

【図3】A-A断面図である。

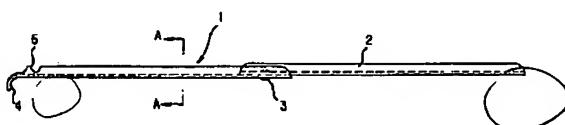
30 【符号の説明】

- 1 孫の手
- 2 靴べら
- 3 ピン
- 4 波状突起
- 5 小突起

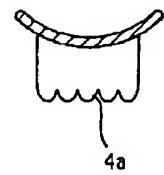
【図1】



【図2】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 2002-719894

DERWENT-WEEK: 200305

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable shoe horn with back scratcher has protrusion formed near wave-like protrusion projected from end of back scratcher pivotably joined to shoe horn by pin

PATENT-ASSIGNEE: NS PLANNING KK [NSPLN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0118410 (April 17, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO MAIN-IPC	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
JP <u>2002306554</u> A 007/00	October 22, 2002	N/A	003 A61H

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2002306554A	N/A	2001JP-0118410	April 17, 2001

INT-CL (IPC): A47G025/82, A61H007/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002306554A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A protrusion (5) is formed near a wave-like protrusion (4) projected from the end of a back scratcher (1) pivotably joined to a shoe horn (2) by a pin (3).

USE - Portable shoe horn with back scratcher.

ADVANTAGE - Enables easy carrying and utilization of portable shoe horn since it has foldable structure. Widens area which can be scratched. Shoe horn can be easily put or stored in e.g. bag, when not in use.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the top view of a portable shoe horn.

Back scratcher 1

Shoe horn 2

Pin 3

Wave-like protrusion 4

Protrusion 5

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: PORTABLE SHOE HORN BACK SCRATCH PROTRUDE FORMING WAVE PROTRUDE PROJECT END BACK SCRATCH PIVOT JOIN SHOE HORN PIN

DERWENT-CLASS: P27 P33

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-568532